

大高

翔

改革ネットワーク（青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党）

### 能代市活力ある高齢化推進委員会の構成

【問】議案提出前に介護保険料の金額等を含む高齢者福祉計画及び介護保険事業計画を審議している能代市活力ある高齢者推進委員会の構成委員に、介護の事業者や要介護者等を加える考えはないか。

【答】介護事業者については、利用者と事業者の調整役でもある秋田県北地区介護支援専門員協会から2名の事業者を推薦していただき、委員をお願いしている。一方で、要介護者を委員に加えることについては、個々により世帯の構成や所得の状況が異なるほか、受けている介護サービスもさまざまであることから難しいものと考えている。

### 秋田県介護サービス事業所認証評価制度

【問】介護保険法では在宅、施設を問わず、サービスの質・量の基準整備が求められている。介護職員の処遇改善、利用者へのサービス向上のため、認証事業者への支援の考えはないか。

【答】本制度により認証事業所がふえることで、従事者にとっては働きやすい環境が整備され、利用者にとっては質の高い介護サービスが受けられるなどの効果が期待できる。市としても有効な制度と捉えており、市民に公表している介護事業所一覧表において、本制度へ参加していることが一目でわかるよう表記を工夫するなど、周知に努めていく。

#### その他の質問事項

- 介護保険法に基づく事務の権限移譲
- 高齢者の交流の場づくり団体等への支援
- 総務省等と連携した5Gの実証実験

渡邊

正人

平政・公明党

### 児童生徒の安全確保

【問】現在市内に子ども110番のステッカーを貼った商店や民家などがあるが、導入から時間が経過している場合など、有事の際の備えは十分か。現在の状況と備えについての考えは。

【答】平成30年9月に調査を行ったところ、古いステッカーを貼った商店や民家、導入から時間が経過している状況が変わっているケースも見受けられた。教育委員会としては、子ども110番の家が、児童生徒の安全確保の場として機能していくよう、学校や警察と連携を図りながら、取り組んでいきたい。

### 災害時や緊急時の情報伝達

【問】防災行政無線は悪天候では放送の内容が聞こえづらいこともある。それを補うため、防災行政無線のテレホンサービス（54-4890番）の電話回線をふやすなどの対策をお願いできないか。

【答】防災行政無線は、気象条件や最近の住宅の気密化により聞き取りにくいことがあり、放送内容を確認できるよう防災行政無線テレホンサービスを提供しているが、現在1回線ずつつながりにくい状況となっている。今後、回線数を増設するとともに、防災情報メール等、災害時に活用できる他の伝達手段についても周知していく。

#### その他の質問事項

- 令和2年度当初予算編成方針
- 高齢者の交通事故防止への取り組み
- 防災情報メール配信活用の周知

佐藤

智一

希望

### 台風19号時の自主避難所

【問】全国で猛威を振るった台風19号であったが、他自治体では夜間避難の危険性を考慮し、日没前に自主避難所が開設された。本市では日没後の20時40分に開設となったが、日没前に開設できなかったのはなぜか。

【答】事前の気象情報では能代市を通過する可能性が低く、自主避難所への避難の希望がなかったことから、当初の段階では開設しなかった。夕方以降、台風が接近した地域で大きな被害が発生しているとの報道や県内他市において自主避難所が開設されたとの情報により、不安を感じた市民からの問い合わせが想定されたことから開設することとした。

### 天空の不夜城収納施設

【問】運行のあり方や経済効果について不安の声が大きい。仮に収納施設を整備し組み立て解体費用を削減しても、施設維持の固定費がそれを上回れば論外である。経済効果と費用負担をどう想定し理解を得ていくか。

【答】収納施設整備による経済効果については、通年観光での関係人口増加による地域経済への波及効果が期待できると考えている。また、費用負担については、組み立て解体経費が節減できる一方で、建物の維持管理費や人件費等が想定されるが、運行等の課題も指摘されているため、まずは課題の解消に努めていきたい。

#### その他の質問事項

- 文化財等保管は既存建物を活用すべき
- バスケミュージアムは移転し指定管理へ
- グラウンドゴルフ場整備は事業費の縮小を